

平成28年度第3回独立行政法人地域医療機能推進機構
群馬中央病院地域協議会 議事概要

【日時】平成28年12月19日（月）13時30分～14時30分

【場所】群馬中央病院別館2階大会議室

【議事】1. 院長挨拶
2. 委員紹介
3. 群馬中央病院の概況説明
4. 平成27年度収支状況
5. 協議

【委員】塚越 日出夫（群馬県健康福祉部長）川原 武男（健康福祉部副部長）代理
倉嶋 敬明（前橋市副市長）
蛭川 勝美（前橋市消防局長）
川島 崇（群馬県医師会副会長）
田中 義（前橋市医師会会長）
家崎 桂吾（前橋市医師会病診連携担当理事）
西田 保二（群馬県済生会前橋病院病院長）
荻原 京子（群馬県看護協会専務理事）
下山 常吉（紅雲町一丁目自治会長）
久我 全治（浅香運輸取締役）
田代 雅彦（JCHO 群馬中央病院院長）
北原 陽之助（JCHO 群馬中央病院副院長）
寺内 正紀（JCHO 群馬中央病院副院長）
内藤 浩（JCHO 群馬中央病院副院長）
吉良 雅巳（JCHO 群馬中央病院事務部長）
茂木 香里（JCHO 群馬中央病院看護部長）
山賀 章一（JCHO 群馬中央病院薬剤部長）

【概要】

1. 院長挨拶

一昨年（平成26年）の4月から、独立行政法人地域医療機能推進機構の病院となりました。この独立行政法人は、平成24年に成立した「独立行政法人地域医療機能推進機構法」に基づいて成り立っております。この機構法第20条に、「機構は、施設の運営に当たり、協議会の開催等により、広く当該施設の利用者その他の関係者の意見を聴いて参考とし、当該地域の実情に応じた運営に努めなければならない。」とされています。これは機構に属する57の病院すべてで行うこととなります。本日は、機構法第20条に基づいて行う、群馬中央病院の第3回目の地域協議会となります。どうぞよろしく願います。

また、機構本部より平成 28 年 10 月 14 日付で通達があり、構成委員の名簿、ならびに本日の議事概要をホームページ等により公開することとなっておりますので委員の皆様方は、ご了承のほど宜しくお願い致します。

2. 委員紹介

委員名簿により説明

3. 概況説明

院長より病院概況について説明（資料あり）

4. 平成 27 年度収支状況

事務部長より収支状況について説明（資料なし）

5. 協議

・紹介状の返書について

貴院だけに限ったことではありませんが、開業医等から病院へ患者を紹介した場合に、さらに別の専門医療機関へ紹介することがあると思います（転院など）。そういった場合に紹介もとの開業医等へ患者の情報が届かないことがあります。対応は難しいと思われませんが、そこが上手くいけばいいと思います。

⇒ 原因として考えられるのは、診断確定前に他科、他院へ患者が移動してしまうことや、医師の異動によるものがあると思います。現在、当院では地域医療連携室が毎月未返書リストを作成し、各科クランクへ作成を依頼していましたが、各科によって対応が異なることがあります。今後は、各科ごとの対応を院内で統一し、連携室の確認作業を頻回にすることで防ぐようにしたいと思います。

・地域包括ケア病棟について

難病以外の患者について、地域包括ケア病棟で受入れることが可能でしょうか。

⇒ 当院の地域包括ケア病棟入院患者は、他病院と異なり、整形外科が大半を占めている状況です。今年の 6 月にオープンして少し落ち着いてきていますが、受入れのためには、調整が必要だと思えます。

・患者の動向、医師確保について。また周産期の状況は如何でしょうか。

⇒ 医師は不足している。県全体としても今後（数年間）は心配。初期研修医等に影響が出ていると思う。いずれは戻ると思うが、それまでの期間がどれくらいなのか。診療に影響がないようにしたい。周産期については、分娩数は減っていない。分娩は県全体で減っているのに、当院が減っていないのは他の地域から増えていることがあると思う。